

NZ・クライストチャーチ レポート

<http://www.ccc.govt.nz/>

2012年3月発行・特別号その4

今回はクライストチャーチの海の玄関であるリトルトン・ハーバーをご紹介します。

もっともこの港は有名で、1850年イギリスからの入植者が初めて船で入った場所としても知られています。歴史的には先にこのリトルトンの港町が開け、入植者たちは新たな町を開拓するためにポート・ヒルズを越えて行き、クライストチャーチの町を作りました。

これら歴史の詳しい資料などは、クライストチャーチのハグレー公園に隣接するカンタベリー博物館やリトルトン博物館に展示されています。

現在は、このリトルトンとクライストチャーチ間は少し長いトンネルでつながっています。2011年に何度か大きな地震がありましたが、このトンネルに被害はありませんでした。クライストチャーチの海岸は砂浜が延々とつながり、港になるような地形ではなく、現在もリトルトン港がクライストチャーチの生活動脈源となっています。石油備蓄基地もあり、カンタベリー地区の経済を支えている港です。



現在のリトルトン港、港の一部には個人などが所有するヨットの港となっている。うらやましい限り



リトルトンとクライストチャーチを結ぶトンネル。左がリトルトン側、右がクライストチャーチ側。長さ約 2km

リトルトン港では上の写真の通り、大きめのボートやヨットを所有し、クルージングを楽しんでいる方も多くおり、海のレジャーには事欠きません。また、リトルトン港には船の博物館もあります。停泊している船の中が博物館となっており、船の名前もリトルトン号です。1850年ころのイメージを再現してあります。

また、リトルトンから南対岸にあるダイヤモンド・ハーバーまで高速フェリーが頻繁に出ており、非常に景観が良いので利用はお勧めです。ただし、対岸での景色は抜群ですが、ウォーキングやサイクリングなどの目的を持って行かないと足となる交通機関はありませんので要注意です。

この高速フェリーは観光用にもなっていますが、実際は対岸の町にも多くの住民がおり、クライストチャーチへ毎日仕事や学校へ出掛ける足となっているようです。



船の博物館リトルトン号



高速フェリーからリトルトン港を望む



ダイヤモンド・ハーバーの高速フェリー



ダイヤモンド・ハーバーからリトルトン方面を望む

一番右の写真のように、リトルトンには平地はなく、すぐに急な坂になり、住居のほとんどは坂に沿って建っています。ポート・ヒルズは海拔が約 500m あり、丘の向こうがクライストチャーチです。

NZ は本当に素晴らしいのですが、常夏のインドネシアにもぜひお越しください。

★マリン・スポーツが満喫できるギリ・メノ & Casablanca にお越しください。

<http://www.h2.dion.ne.jp/~gilimeno/> Casablanca のお問い合わせは、shimaint@r4.dion.ne.jp へ